



平成30年
4月号



発行人 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 田原公民館
〒747-0178 奈良市若荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

「偶然ではなく」

館長 泉森 由貴

「東大寺のお水取りがー」こんな式辞を聞くのも奈良ならではです。ストープも要らなくなった春めいた日、やわらかい日差しが差し込むどんごが丘へ。今年も小中学校の卒業式に出席しました。キッズでは休日の顔をみせることもたちもこの日はピリツとした緊張感をもっていきます。卒業生は6人。松元校長先生は一人ひとりの性格と思い出を語りかけます。そして答辞で9年間のふり返る彼らがいます。

一週間前のキッズ最終回に卒業式の話をする、真つ先にこぼれたのが「寂しいな」の一言。少人数で長い時間を一緒に過ごした地域の大きなお兄さんお姉さんの門出には、市街地の子たちが感じるそれ以上の思いがあるのでしょうか。式半ば、普段はやんちゃばかりの男の子が肩をふるわせ涙をこぼします。人前で泣くなんて、それも同級生の前でなんてと、そんなことも気にしない様子です。私は来賓席から今の時に皆がこの場所に同席している意味を考えていました。

答えをいただいたのは、植育友会長のご挨拶でした。「ここににいる人が同じ時間を過ごすのは偶然でなく必然のことです。出会うべくして出会うのです」と。たまたまなんかじゃない。何かに導かれたような必然性。一人ひとりに、一つひとつの出来事にちゃんと意味があるのだというのです。

拍手で送られる卒業生。花道で小さく声を掛ける在校生。手を叩きすぎて痒くなった手をイスに擦りつけている小さな男の子。ハンカチを握る手を震わせる保護者席。終始気持ちを温めてくれた時間でした。

花道の向こうには田原の出口があります。それは外の世界の入口です。がんばれ田原っ子。これから今まで以上の出会いが待っています。それも偶然ではなく必然です。TAWARAキッズで公民館に来てくれた時よりずっと大きく、表情も声も変わって見えた彼らにエールをおくりました。

花が... 三月下旬



さて、田原を含む東部大和高原にも春がやってきました。地域おこし協力隊発行の「す・とうぶ」春号には春の八景と題した名所が紹介されています。新緑の映える田原には春の魅力が詰まっています。地域伝統のおもてなしの気持ちで、皆さんをお迎えしたいですね。

平成30年度前期
田原公民館主催講座の紹介

【老春塾】5月～1月

田原万青クラブ連合会と共に今年も充実した学習内容で開催します。皆さんお揃いでお越しください。

【TAWARAキッズ】5月～3月

さつまいも作り、釣り体験、囲碁ボール、職場体験など楽しい時間がいっぱい。小学生のみんな待っています。

【幻のロープウェイの軌跡を追って】5月

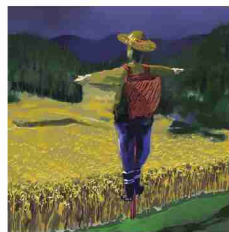
田原地区にかつて存在した荷物運搬用のロープウェイ「奈良安全索道」の詳細を探り、その痕跡をたどります。

【田原ファン倶楽部】5月～11月

市内の小学生を持つ親子向けに農業体験や交流体験を通じて田原の魅力を知ってもらおうという講座です。今年もたくさんの田原ファンを集めます。

【田原―大人の稲作―】5月～9月

休耕田をお借りして、田植えから田の管理、稲刈り、粃摺りまで一連の米づくりを学びます。田原の水と太陽が生んだ絶品米を食べてみませんか。



【田原―抹茶パワー―】6月

最近の日本茶ブームに乗り、抹茶は色や味だけでなく、その効能にも高い関心が寄せられています。この講座では抹茶の製法や食事への使用法を学びます。

【チャレンジ和太鼓】6月～10月

ドーンドンドン！今年も田原に太鼓の音が響き渡ります。田原では伝統になりました和太鼓。大人も子どもも大歓迎です。さあ、

始めてみませんか。

【夏を乗り切る男のスパイス料理】6月

矢田原 v a n a m の落合さんを講師に迎え、男性向けのスパイス料理に挑戦します。インド仕込みの本格料理をぜひどうぞ。

【五つ星★交流キャンプin都祁】6月

夏の恒例行事になった小学生のデイキャンプ。東部地区の興東・柳生・都祁・月ヶ瀬と合同で行います。今年は都祁の野外活動センターを会場に実施します。



【親子なかよしザリガニ釣り体験】7月

夏休み恒例の親子の絆を確かめ合う講座。今年は竹を使った釣り竿づくりから、実際にザリガニ池で釣り体験までを実施します。何匹釣れるかな？

【こーみかん・ふれんず】7月

田原公民館利用の自主グループの交流会を実施します。同じ釜の飯を食う仲間たちと公民館について語らい、交流しましょう。

【田原まち創り講座～灯りのオブジェ～】7月～8月

田原の夏を彩る納涼盆踊り大会に向けて、今年も灯りのオブジェを作ってみませんか。恒例のスタードームを作成し、幻想的な空間を演出しましょう。皆さんのアイデアをお待ちしています。



【夏休み探検隊！

～ヘリポートってどんなところ？～8月

夏休み探検隊は、奈良県ヘリポートを見学します。お子様の夏の自由研究にもぴったりのです。本物の迫力を体感しましょう。



取材：吹ノ戸由実子
写真：中北 賢

県道沿いに建つログハウス。サロンメリーガーデンの余頃千枝子さんを訪ねました。

「心の出会い喫茶」の看板が揺れる『サロンメリーガーデン』を訪ねました。

2階の店内には大きな薪ストーブが施され心地よい暖かさ、そして庄巻のステンドグラスの数々が異空間を作っていました。▼平成24年に「田原やま里博物館」の取材でお訪ねしています。35年ほど前に大阪から戻られ、このステンドグラスの工房を作られたそうですが、カフェは同時に開店されたのですか。●今から25年ほど前に始めました。もともと食べ物屋がしたくて、大阪に居た頃、お好み焼きのお店を2年半近く手伝っていたことがありますが、ログハウスに憧れ、空気の良いところでは何かすることが夢でした。当時はログハウスが珍しく、テレビや雑誌などメディアに取り上げられた影響で、モーニング、ランチ、予約制のディナーと無休の忙しさでした。のどかな環境と工房見学もできる特別感で人気がありました。▼現在はどの様なスタイルで営業されていますか。●

以前の多忙さに疲れ、今は3名以上の予約制です。メニューはお好み焼き、カレー、どちらにもコーヒーが付きです。食材は



田原の市場で買う田原産か奈良産のものがほとんどです。▼お客様はどのような方ですか。●そうですね。当時から常連さんが多く、今に至るまで家族ぐるみのお付き合いをさせてもらっている方もいます。市内はもちろん、大阪、神戸からお越しいただきます。特に口コミでお越しくださる方が多く、お客さんとおしゃべりのキャッチボールが面白く楽しいです。人と出会う事が幸せです。▼まさに人の輪が広がっている感じがですね。さてお店の名前の由来は●以前、主人が立ち上げた会社の名前を使っています。「空間を変化させる」「自然の姿」をコンセプトに店舗空間を企画しインテリアの輸入を扱っていた会社です。▼こちらのお店にもそのような思いが反映されているのですか。●店主としてのこだわりはどの様なことですか。●のんびりゆつくりと楽しみながら、友を増やすような気持ちで、ほっとできる居場所づくりです。これか



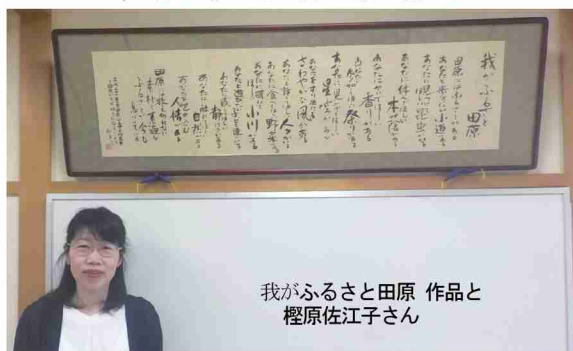
らもみなさんに喜んでいただき、楽しんで続けられたらと思っています▼田原の好きなところは●中之庄トンネルへ続く道からの景色、そして岩石谷の道を奈良へ下るときの夕日が最高にきれいですね。田原の四季がそれぞれに美しいと思います●本日はありがとうございました。●「人生幸せ」の言葉が印象的でした。人との出会いは余頃さんのパワーの源のようですね。これからたくさん良い出会いがありますように。

「田原を彩る名店オーナーを訪ねてのコーナー」は今月で終了します。次号からの新しい企画に御期待ください。▼

我がふるさと田原 どうぞ観においでください

「田原にはふるさがある」田原には数え切れない素朴で素適なふるさがあるが今も息づいている。平成21年に田原ふる里環境保全向上活動協議会が当時の小学生から田原にまつわる魅力的な言葉を集めて、それをまとめた「田原ふるさと作文集」に文頭の詩があります。今回この詩を岡井稲郎さんにとっても良い詩だと紹介していただき、しっかりとした作品として後世に残していこうという流れになりました。

そこで、台紙を日笠ワークスの紙すき工房に特注し、題字は矢田原の書道講師、樫原佐江子さんにしたためていただきました。地域の魅力を集めた言葉を地域のこどもたちが発想し、田原産の竹から作った紙に地域の教育力を活かしたこの作品はまさしくメイドインTAWARAです。公民館で額装し、皆さんに公開しています。とても素適な詩、そして素晴らしい文字です。当分は和室に、どこかの時期に玄關ホールに移動して掲示します。たくさんの方々が訪れた作品をどうぞご覧ください。



我がふるさと田原 作品と
樫原佐江子さん

4月の公民館行事とその他のお知らせ

- 10日 (火) 田原小中学校入学式
- 10日 (火) 狂犬病予防接種 公民館駐車場
- 29日 (日) 昭和の日 祝日のため休館

田原地区の世帯数と人口は

世帯数 764世帯
総人口 1735人
男性：842人 女性：893人
(平成30年3月1日現在)

●昨年度29年3月1日付けでは世帯数774世帯
総人口1768人、男性860人・女性908人でした。



芦ノ湖からの富士山の絵を
ご寄贈いただきました

昨年11月の本紙と文化祭でご紹介しました、義弘少年15歳の絵を立派な額装の後、公民館に寄贈していただきました。60年の歳月を経て今なお輝きを失わない色ですが、ベニヤ板と絵の具の耐性を保存するため、ガラスに保護されることになりました。15歳の心を動かした美しい景色は田原公民館でこれから皆さんの心に訴えかけます。貴重な絵をいただき、たことに感謝します。義弘少年、ありがとうございます。

